

電子機器メーカーの伊吹電子(川崎市高津区)が、会話などの音声を聞き取りやすくする携帯機器「音声拡聴器 骨伝導クリアーボイス」を開発し、販売を始めた。福祉製品の開発や販路拡大に市が補助金を出す支援制度を活用した。

「骨伝導」とは、頭蓋骨に伝わった振動を直接聴覚神経で感知する音の伝わり方を示す。「空気伝導」と異なり、鼓膜に異常があっても音を聞き取ることができるのが特長。

骨伝導で音クリア

高津の伊吹電子 携帯拡聴器を開発



本機は携帯電話ぐらいのサイズで七十ミリ。ゴム製の振動板を耳に当てて使う。マイクで受信した音

を振動に変え、頭蓋骨に伝える仕組みだ。十二年前に発売した「音声拡聴器 クリアーボイス」は、スピー

カーで音を大きくするタイプだった。十二万台を売るヒット商品になったが、「空気伝導」の方式のため、鼓膜の機能が衰えた利用者から「聞こえづらくなった」と相談が寄せられていた。

市から開発費の半額の補助金を受けた。「より多くのお年寄りが聴覚コミュニケーションを交わす手助けに」と松田正雄社長。税込み一万九千八百円。問い合わせは同社☎電(888)3796へ。(栗原淳)

手のひらサイズの「骨伝導クリアーボイス」。イヤホンやストラップなどが付属。電池は充電式